

神奈川県への「優良児童図書」及び「ポリショイサーカス福祉招待券」の贈呈について

神奈川県遊技場協同組合(理事長：関根貞雄)と神奈川福祉事業協会(会長：関根貞雄)は、児童養護施設等において生活する子供たちが、夏休みの思い出となるようにとの思いを込めて、本年7月27日、神奈川県に対して児童向け優良図書450万円相当と、恒例のポリショイサーカス福祉招待券1,500枚500万円相当を寄贈しました。この寄贈に伴って、古尾谷副知事から神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会に感謝状が贈られました。寄贈式の状況は、次のとおりです。

1. 実施日	平成22年7月27日(火)
2. 場所	神奈川県庁3階応接室
3. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会
4. 寄贈先	神奈川県
5. 贈呈物品	○児童向け優良図書450万円相当 ○ポリショイサーカス福祉招待券1,500枚500万円相当

6. 概要 神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会は、県内の児童養護施設、障害児施設等で生活する子供たちの、夢や希望につながることを願って、全国の自治体が推薦した優良図書の中から選定し、神奈川県を通じて、盲児施設を含む児童養護施設、障害児施設、DV被害者施設など61施設に対し、図書を寄贈するとともに、7月28日から8月8日まで横浜文化体育館で開催されるポリショイサーカスの福祉招待券1,500枚を寄贈したものです。

寄贈に当たって、神奈川県遊技場協同組合 萩原哲二副理事長は、「こうした図書やサーカスへの招待などは、夏休みを迎えた施設の子どもさんたちにも、きっと喜んでいただけるものと期待している。これからも各方面への社会貢献活動を続けてまいりたいと考えている。」と挨拶いたしました。

これに対し、古尾谷副知事は、「最近子どもたちの本離れが問題となっており、私たちも関係部局と本に親しむ対策を検討しているところですが、このように沢山の施設に多くの本を寄贈していただけることは、本当にありがたいことです。また、ポリショイサーカスへのご招待は述べ5万人にもなると聞いております。こうしたご支援は本当にうれしく、子どもたちにも喜んでもらえることと思います。」と感謝の言葉を述べられました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞でも紹介されました。

